

公益財団法人軽井沢美術文化学院

平成 28 年度事業計画書

1. 美術館の運営

(1) 企画展 ルヴァン美術館開館 20 周年記念企画展

2016年6月11日(土)～11月6日(日)

大正グラフィティ

「西村伊作と二人の弟たち」

西村三兄弟は老成することを拒み、あたかも青春の如く時代を駆け抜けた

絵画・教育・建築・陶芸

今年ルヴァン美術館開館 20 年にあたります。

記念の企画展として、西村伊作の絵画・陶芸や、建築・教育など社会での活動、戦中の伊作などについて紹介し、加えて二人の弟たち、真子(マルコ)七分(スティーブン)についても遺された写真・絵画などを展示します。

我が国は明治維新以降、欧米から科学技術を取り入れ急速に近代化しましたが、民衆の生活は旧態依然としたものでした。伊作はその状況を憂い、教育や住宅の改革を通じて、日本人の生活の改善に真剣に取り組み、1921(大正 10)年には、自分の財産を使って「文化

学院」や「西村建築事務所」を創立しました。

彼はまた、自身の生活の中に絵画や陶芸の創作など「芸術」を取り入れ、日常を豊かにするとともに、創意工夫を凝らして改善された「生活」そのものも「芸術」と考え、その創造を自らの喜びとしました。彼が住む明治末から大正にかけての熊野新宮の町には新しい気風が流れ込み、彼は発展していく町の風景や変わりゆく姿を描きました。これまで、未発表の伊作の絵画も多数展示します。

伊作の主張や姿勢は、現代社会でも通じる普遍的なものが含まれています。

この企画展が、今後の日本人の日常生活を考える上で、示唆に富んだものとなれば、幸いに存じます。

(2) 美術館でのイベント

1) 春のアートフェスティバル 4/29(金)～ 5/5(木)

入場無料、子供達（高校生迄）の作品（絵画・工作・書道・作文他）を美術館内に展示。カフェは営業する。

2) ローズフェスティバル バラとお茶の会

6/18(土)～ 7/3(日)

会費： 2,000 円 (各種特典あり)

美術館入館料 2 枚・カフェでのお茶とケーキセット券 2 枚付き

3) フラワーアレンジメント 7/2(土)

講師：捧 泉美 10:00～16:00

材料費込：1,000 円

4) (新) 夏休み体験教室 「木工教室」 7/23(土)・7/24(日)

講師：永島秀之 10:00～16:00

材料費込：1,000 円

制作時間：約 40 分

5) サマーコンサート

① 近藤和花ピアノコンサート 8/7(日)

② ボサノバ/サパトス (木村純・三四郎) 8/13 (土)

② 一噌幸弘/能管・笛 8/27 (土)

④ 酒井はな/現代舞踊 9/22(予定)

6) 秋のアートフェスティバル 10/9(日)

スケッチ大会・トイペインティング体験 (講師：中嶋祐子)

マルシェ・グリーンマーケット、

美術館展示説明 (14:00～)

3. 学生寮の運営

本年度も文化学院在校生、卒業生および学院関係者の研修の一環として、宿泊、食事、セミナーの場を提供する。特に今年度は文化学院設立者の西村伊作の生涯とその思想、作品の展示会でもあり、積極的に学生、OB, OG に PR する。

4. ショップ・カフェの運営

1) ショップ

本年度は従来の商品に加え、昨年度好評だった志村ふくみ氏関連の書籍を引き続き販売する。

2) カフェ

美術館庭園の雰囲気、癒しの空間として来館者にアピールし、また、値段、味ともに評価された結果、毎年着実に来場者が増加してきました。2015 年度の見込みは志村ふくみ展への来場者が多かったこともあり 3 百万を超えた売り上げを達成しましたが、2016 年度は 15% 程度の減収の見込みで保守的な予算を組んであります。駐車場、美術館からショップ、カフェへ車椅子でも入れるようにバリアフリー化も完成しており、価格も据え置き、サービス面では、繁忙時にも御客様を待たせないよう、スタッフの強化を図り、大幅減収とならぬよう努

めます。

5 その他、

1) 他の団体への寄付

新宮の西村記念館については、本年度も引き続き維持、保全のための寄付を継続する。また昨年同市が保全のために購入した西村伊作が建築したチャップマン邸についても、維持、保全のための寄付を継続する。

2) 隣接地の買収計画

多目的ホール建設のための隣接地買収は地元の不動産業者を通し交渉中でしたが、結論を得るには至っておりません。

並行して別の隣接土地の所有者との交渉も始めてもらうこととしました。土地買収が不調に終わり多目的ホールが建設できなくなった場合の公益事業拡大のための代替案を検討する必要があります。